

2018年7月23日  
株式会社 リクルート キャリア

## 2018年4－6月期 転職時の賃金変動状況

**「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は30.1%**  
**前年同期比2.0ポイント上昇**

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林 大三）が提供する転職支援サービス『リクルートエージェント』における2018年4－6月期の「転職時の賃金変動状況」をご報告いたします。「転職時の賃金変動状況」では、“転職決定者の賃金は転職前後でどのように変化しているのか”という点に着目し、「前職と比べ賃金が明確に（1割以上）増加した転職決定者数の割合」の経年変化を観察していきます。

### 【算出式】

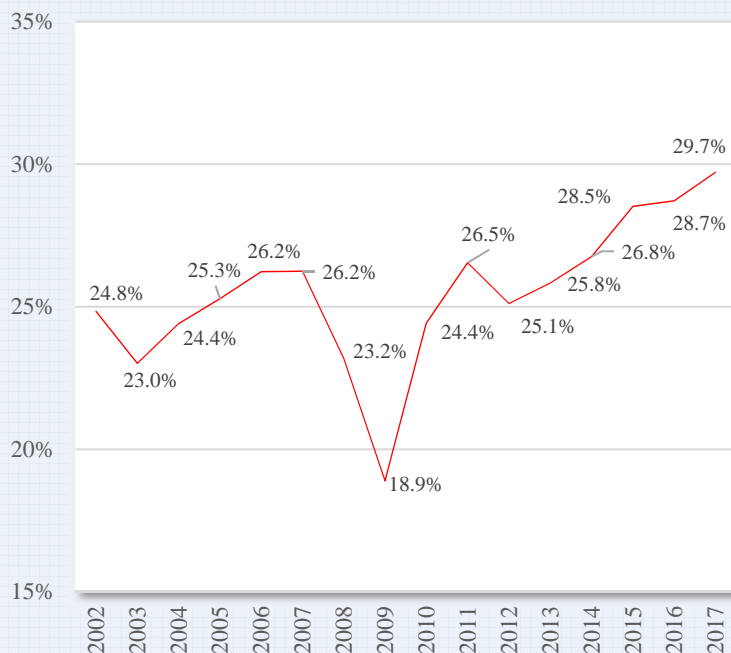
$$\frac{\text{「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数」}}{\text{「転職決定者数合計」}} \times 100 \text{（単位：％）}$$

※ 前職（転職前）の賃金は時間外労働等の「変動する割増賃金」を含む一方、転職後の賃金にはそれらが含まれないため「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は実態よりも低めの値となる傾向があります。

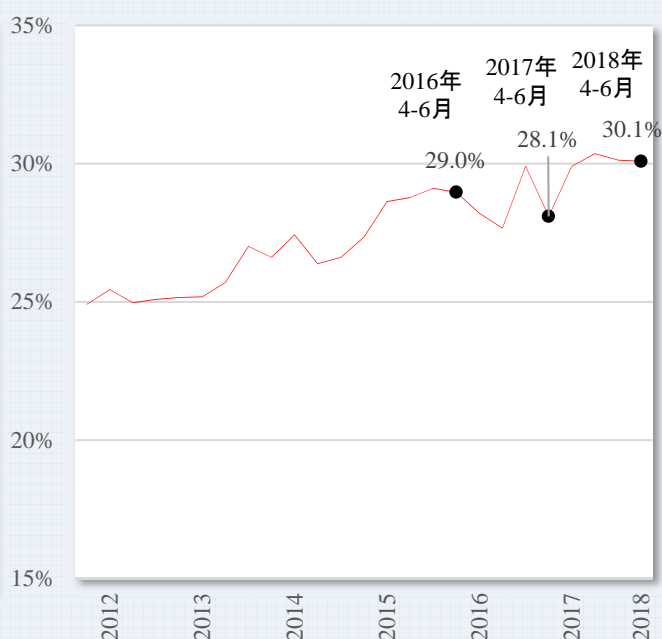
### ■ 全体

- 4－6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は30.1%。
  - － 2013年以降、上昇基調が続いており、2018年4－6月期も前年同期比2.0ポイント上昇。

【年度推移】



【四半期推移】

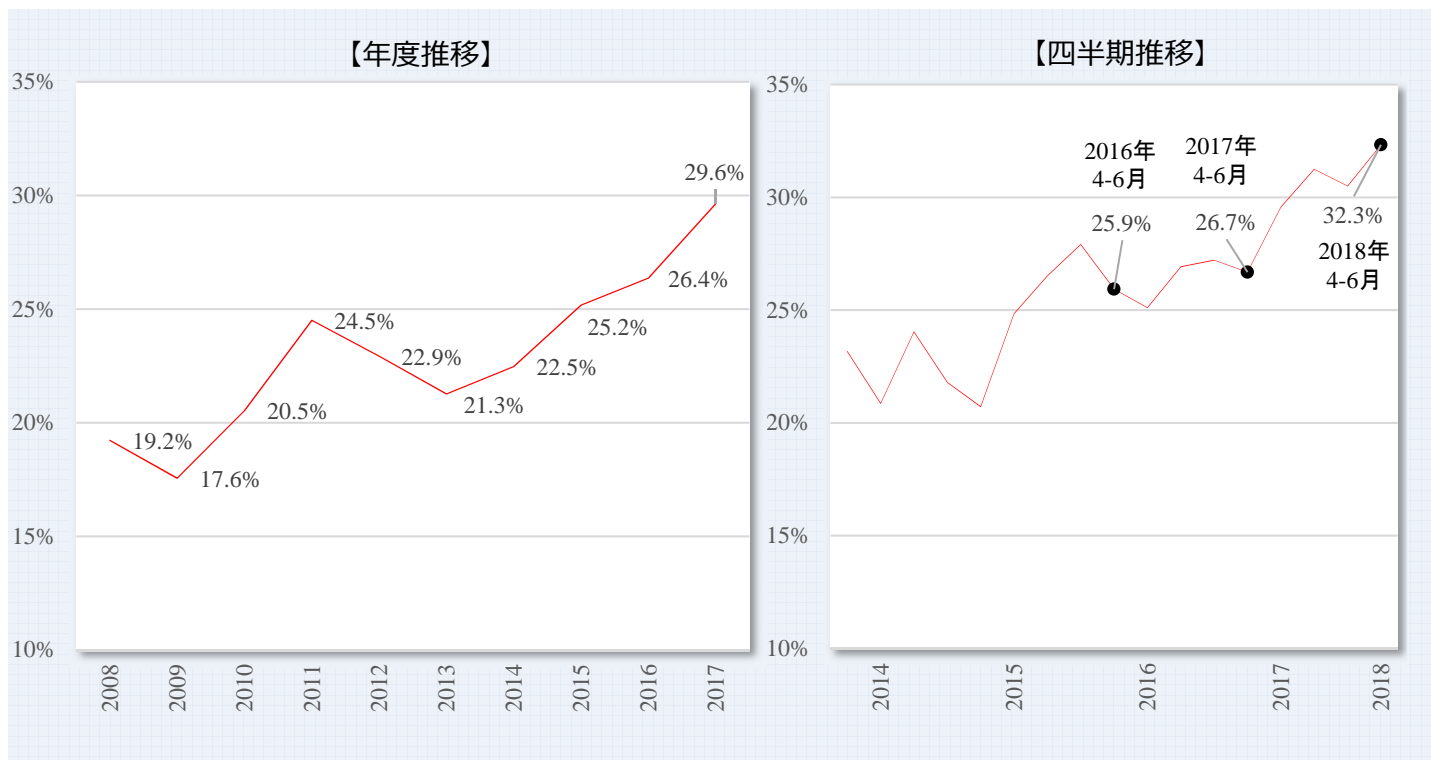


【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ  
TEL: 03-3211-7117 Mail: kouho@waku-2.com

リクルートキャリアではこれからもひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

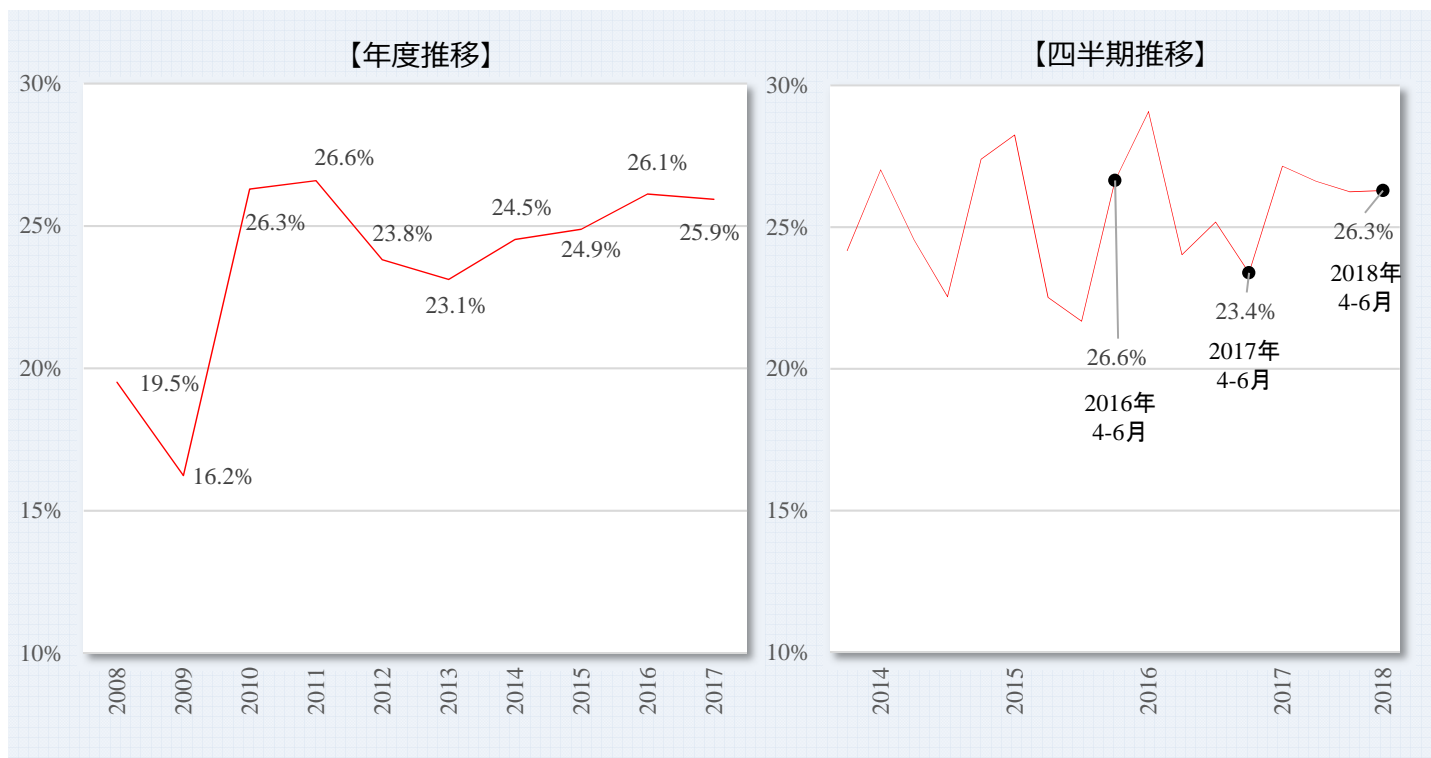
● **IT系エンジニア**：4-6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は32.3%。

－ 2014年以降上昇基調が続いており、2018年4-6月期も前年同期比5.6ポイント上昇。



● **機械・電気・化学エンジニア**：4-6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は26.3%。

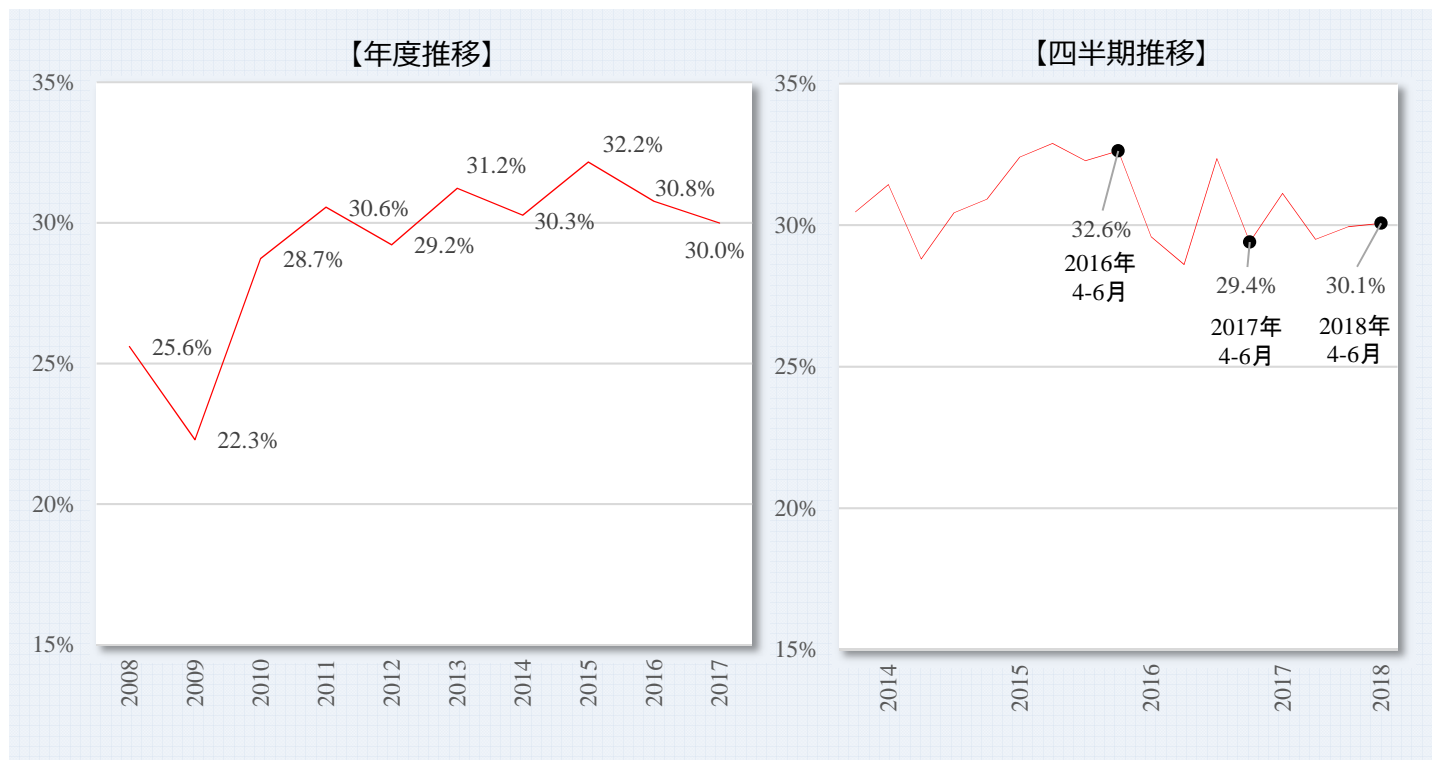
－ 2016年以降は、振れを伴いつつも、概ね横這い圏内の推移が続いているなか、2018年4-6月期は前年同期比2.9ポイント上昇。



## ■ 職種別

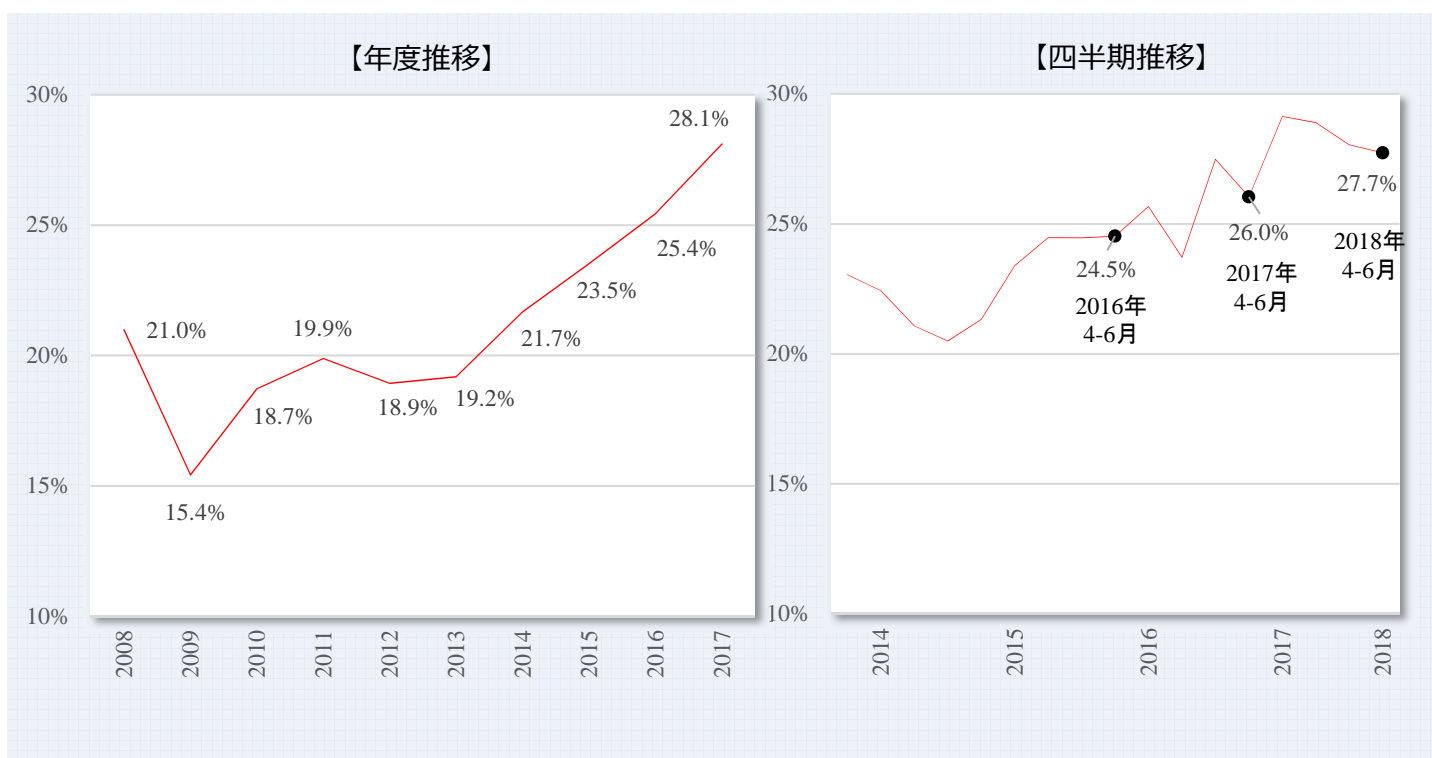
### ● 営業職：4－6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は30.1%。

- 2015年中頃をピークとして、振れを伴いつつも、緩やかな低下基調が続いていたが、2018年4－6月期は前年同期比0.7ポイント上昇と、このところ下げ止まりつつある。



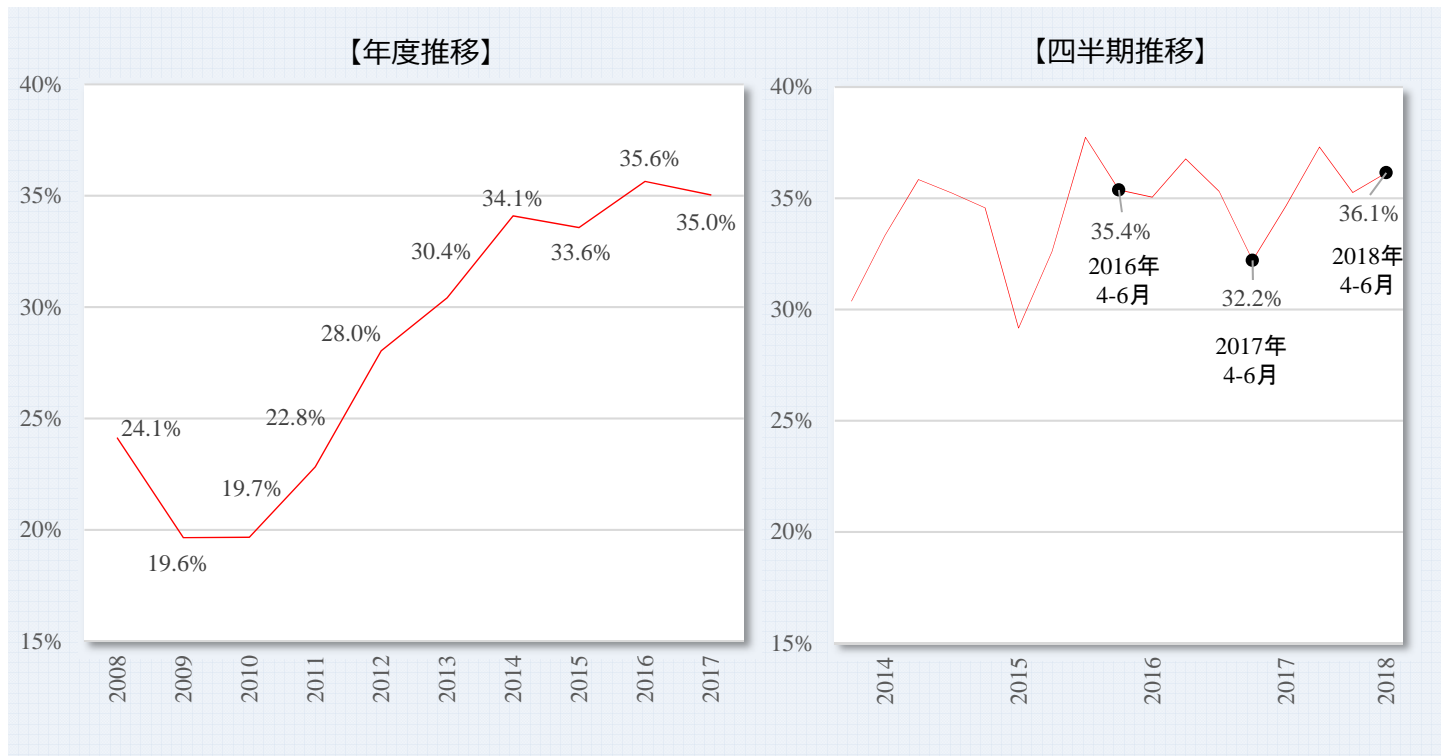
### ● 事務系専門職：4－6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は27.7%。

- 2014年以降上昇基調が続いており、2018年4－6月期も前年同期比1.7ポイント上昇。



## ■ 職種別

- **接客・販売・店長・コンサルタント**：4-6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は**36.1%**。
  - 2018年4-6月期は前年同期比3.9ポイント上昇。2011年度以降の急激な上昇と比べると、2015年度以降は幾分減速感がみられるものの、水準としては高いレベルを維持している。



### 免責事項：

掲載されている数値は、転職支援サービス「リクルートエージェント」のデータをもとに、リクルートキャリアが独自に算出したものです。情報の内容の正確性については万全を期しておりますが、その時点での提供可能な情報であり、その正確性を保証いたしかねますこと、あらかじめご了承ください。またシステムにおける障害の発生、システムのメンテナンス等のため、情報提供を一時的に停止する場合があります。

## ■ 職種分類対応表

毎月公表している「転職求人倍率」における職種分類と「転職時の賃金変動状況（当資料）」における職種分類は以下の通り対応しています。

